

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

資料2

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第7回ひらつか市民スポーツフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。	不特定多数の人が集まるイベントだったため、新型コロナウイルス感染症を防止しながら実施するのは困難のため、中止となりました。	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着してきているため、市民の認知度も上がってきている。市民のニーズを把握して、各種事業を改善しながら、継続事業とする。
2-1	ビーチスポーツ普及事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を実施します。	ビーチバレー等のビーチスポーツ体験会が実施されました。	各回とも30名程度の参加があり、新たなスポーツに接する機会を提供することができました。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後ともビーチスポーツに接する機会の提供と普及に努めていきます。
2-2	ビーチスポーツ普及事業の開催	スポーツ課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	名義後援等	名義後援等による支援を行い、間接的に大会の開催や大会を観戦できる機会を提供することに寄与した。	継続	補助金交付による支援は28年度で終了となっている。今後、大会の開催にあたり、人的、物的支援等を検討しながら継続する。
3	運動体験教室	健康課	腹囲マイナス教室・糖尿病予防教室	生活習慣病予防のために、運動の実践を通して生活習慣の改善を図り、運動習慣を身につける。	腹囲マイナス教室6日間3クール16回開催 参加者延270名 新型コロナウイルス感染症の影響により、3クール目の2回分が開催できなかった。糖尿病予防教室3日間全2クール6回開催 参加者延78名	腹囲マイナス教室は運動指針が理解できた者96%、糖尿病予防教室は効果的な運動について理解できた者100%であった。教室参加者には運動指針の使用により、生活習慣の見直しの動機づけを行うことができた(腹囲マイナス教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3クール目の途中で終了となった、2クール分の評価とする)。	事業縮小	今年度、40～60歳を対象に壮年期からのメタボ予防教室を拡大して実施し、令和2年度も継続して開催予定である。そのため、腹囲マイナス教室は年間3クールから2クールと縮小して継続予定。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための事業や活動を実施する。	健康ウォーキング9回開催 参加延人数418人 くすのき体操(講習会等)118回開催 参加延人数2,571人 体力チェック9回開催 参加延人数402人 ただ、事業計画のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、健康ウォーキングと体験ウォーキングが各1回、公民館まつりでの体力チェックが4回実施できなかった。	健康推進員活動は、運動の習慣化を目指し継続参加が可能ため多くの市民が参加し、運動習慣を定着させる機会となっている。健康推進員は、協議会として積極的に研修を実施し、地域からの依頼を受けて自主活動も活発に行っている。	継続	前年度に引き続き、健康推進員を育成し、地域での健康づくりの輪を広げていく。
5	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自主的に活動するために必要な知識・技術を学習する。	養成講座全8回開催。参加延人数71名。	「自分たちの健康は自分で作り、守る」という地域での健康づくり活動の動機づけを広く行うことができた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員を養成し、地域での健康づくりの輪を広げていく。
6	健康推進員育成講座	健康課	健康推進員スキルアップ!講座	健康推進員が地域において健康づくり活動のリーダー的な役割を担い、地域において活動を推進することを目的とする。	スキルアップ講座全7回開催。参加延人数60名	地域で安全に健康づくり活動を行うために必要な知識・技術を多くの参加者が習得できた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の活動において、地域で安全にウォーキングや体操、体力測定を実施していくための知識・技術の向上を行っていく。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
7	日常的運動習慣への啓発事業の開催	スポーツ課	ウォーキングイベント	多くの市民が参加しやすいスポーツイベントを提供するために、「楽しむこと」を重要視して、結果的に「スポーツをすること」に繋がるウォーキングイベントを検討します。	ウォーキングイベントを始め、気軽にスタートできるスポーツイベントについて検討を行った。	1回限りのイベントとしてではなく、日常的な運動習慣につなげるスポーツイベントとできるかが課題である。新規だけでなく既存のイベントを工夫することも含めて考えたい。	継続	コロナの影響から市民のスポーツをする機会が提供できていないことを踏まえ、ウォーキングイベントを始め気軽に参加できるイベントについて引き続き検討する。
8	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動推進プログラム	地域の健康づくりを目的として活動しているグループに対し、教育を実施し、健康づくりに関する知識や技術の向上を図ることを目的とする。	全7回実施。参加延人数189名。	地域で安全かつ効果的な健康づくりを実践するための知識・技術を多くの参加者が習得できた。	廃止	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複していることもあるため事業自体の見直し、重複している部分については廃止し、重複していない部分は地域健康づくり支援事業に統合する。
9	地域健康づくり支援事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民団体及びグループ等からの依頼に応じて、健康教育・健康相談等を実施し、健康づくりの知識・技術の向上を図る。	全3回実施。参加延人数124名。	地域からの依頼があり、広く健康づくりの知識・技術の普及に寄与することができた。	継続	前年度に引き続き、より多くの市民に健康づくりの知識・技術を普及し、自身の健康を考えるきっかけを増やしていく。
10	公民館における自主事業等	中央公民館	公民館における自主事業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供するため、公民館主催の児童・生徒地域参加事業、家庭教育学級、シニア学級、自主事業等を実施します。	合計 89事業 延べ5,200人 内訳 児童・生徒地域参加事業 8事業 延べ736人 家庭教育学級 19事業 延べ536人 シニア学級 31事業 延べ854人 自主事業 28事業 延べ2,905人 その他 3事業 延べ169人	前年度と同程度の規模で実施した。新規事業として、「筋肉のプロとストレッチしよう」や「パパとふれあいストレッチ～希望する母親はビューティーストレッチ～」を展開した。	継続	日時や対象を検討して継続する。
11	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第68回市民総合体育大会(3,748名)・ニュースポーツ大会(332名)・市内駅伝競走大会(36チーム)	体力・技術の向上、地域交流、仲間づくりなどのスポーツによる効果を得ることができ、「する」「観る」「支える」スポーツとしての機会を提供できた。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続して実施していく。
12	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	地域住民相互の親善と交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るとともに、スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るため、各地区で市民体育レクリエーション地区大会を実施します。	合計 15会場 10,583人	台風19号の接近に伴い、11会場で中止した。実施した15会場では、幼児から高齢者まで幅広い世代が参加可能な競技種目を設定した。	継続	競技種目を検討して継続する。
13	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室・健康講座	市民が生涯にわたるスポーツに親しみ楽しむため、スポーツ教室を実施します。又、運動を始めるきっかけと、継続するための教室を実施します。	財団主催スポーツ教室42事業 参加者9,942人 (子どもを対象とした事業を除く。)	定員数に応じた参加者があり、参加者の楽しんでいる様子も窺えスポーツを親しむ機会を提供できた。	継続	スポーツを親しむ機会を提供するために今後も継続する。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
14	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HANDSIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	・手話ダンスグループ「HANDSIGN」による公演年4回	HANDSIGNによる公演を小学校等で実施して、ダンスや手話に興味を持っていただく機会となった。	継続	小学校等での公演を通して、手話やダンスに興味を持ってもらえる機会を提供し、手話ダンスの普及啓発を図る。
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活用事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	パラスポーツフェスタと少年少女水泳大会においてボランティアを活用し事業を行った。	ボランティアを活用して事業の実施をすることができたが、まだまだ限定的である。	継続	各種スポーツイベント毎にイベントの内容を踏まえて、更に呼びかけを行い、スポーツボランティアを活用した事業を推進する。
16	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	子育て中の親子が楽しめるふれあいの場を提供するため、実施している。親子で一緒にできる運動や、自然物を使っての制作を楽しんでいる。	4回開催し、園児130名、保護者126名の参加	・親子の関係を深めることができた。 ・「新しい友達(親子ともに)ができた。」「親子のふれあい遊びのやり方がわかった。」などの声を聞くことができた。	継続	毎年多数の参加者があり、ニーズは高いと考えている。
17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子であそぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、親子と一緒に体操やふれあい遊びを行うイベントを実施。	令和元年6月15日(土)会場:トッケイセキュリティ平塚総合体育館119組344名の親子が参加	保護者と乳幼児のふれあいを深めることができた。	継続	毎年多数の参加者があり、ニーズは高いと考えている。
18	計画訪問	教育指導課	幼稚園・こども園・小中学校訪問	指導力の向上を図るため、授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議します。	中学校で行われた球技(バレーボール)の授業に、市内の16校の中学校より17名の保健体育科教員が参加した。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
19	中学校部活動研究推進協議会	教育指導課	中学校部活動推進事業	部活動の諸課題を解決するため、中学校部活動研究推進協議会において、具体的取り組みについて研究の実践を行います。	令和元年10月24日に実施。部活動の方針改定についての協議を行った。	部活動の方針について内容を協議し、方針を改定することができた。	継続	部活動の活動内容に充実のために、今後も継続していく。
20	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動地域指導者派遣事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を、運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣します。あわせて地域指導者に対する講習会を実施します。	地域指導者派遣期間は平成31年4月1日から令和2年2月29日。延べ95人の地域指導者が総計5,384単位時間活動。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問が多い中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で大変に有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。
21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生を激励します。また、激励金を交付し活動を支援します。	運動部については、関東大会出場者34人に対し、68,000円を支給した。また、全国大会出場者22人に対し、110,000円を支給した。	全国・関東大会に出場する生徒の激励をすることができた。また、激励金については、大会参加時の支度金として有意義に活用されている。	継続	全国・関東大会に出場する選手を激励するために継続していく。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
22	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	平塚市体育協会	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	運動能力の優れた児童及びその保護者を対象に、専門知識や多様なスポーツトレーニング体験の機会を提供し、競技技術の向上を資するため研修会を開催する。	8月6日～8月8日の3日間、平塚市に花巻市の小学生と保護者が来られ交流を行う。3日間の参加者の合計は50名。	研修を通じて互いの市の交流が深まり、研修生の今後のスポーツ活動の励みとなるものを提供できた。	休止	令和2年度は東京オリンピックにより施設確保の困難が見込まれたため中止。
23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球、水泳、剣道、マラソン大会を実施します。	少年野球大会 7月19日～28日 626名 少年少女水泳大会 8月3日 259名 少年少女剣道大会 10月6日 179名 少年少女マラソン大会 3月7日 中止	各種スポーツ大会を通じて、心身の健全育成に寄与するとともに、子どもたちにスポーツをする機会の提供ができた。	継続	スポーツをするきっかけづくりや日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
24	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	令和元年度利用者数：15,737人	夏季休業中の市内28校の小学校プールを各校7日間開放した。天候にも恵まれ、台風等の悪天候もなかったため。	継続	スポーツをするきっかけづくりや日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会(再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第68回市民総合体育大会(3748名)・ニュースポーツ大会(332名)・市内駅伝競走大会(36チーム)	体力・技術の向上、地域交流、仲間づくりなどのスポーツによる効果を得ることができ、「する」「観る」「支える」スポーツとしての機会を提供できた。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続して実施していく。
26	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	子供たちにスポーツの楽しさと、素晴らしさを知ってもらうため、子どもを対象としたスポーツ教室を実施します。	ジュニアフラダンス教室2クール27回計36名、ジュニア新体操教室3クール27回計103名、ちびっこ相撲8月24日30名、テニススクール(ジュニアコース)4クール41回138人 計 312人 他 親子エアロビクス計29回24組	定員数に応じた参加者があり、参加者の楽しんでいる様子も窺えスポーツを親しむ機会を提供できた。3月の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため回数が減った。	継続	スポーツを親しむ機会を提供するために今後も継続する。
27	フレイル対策推進事業	地域包括ケア推進課	フレイルチェック測定会	高齢者の身体状態を把握し、介護予防のための運動へのきっかけづくりとなる「フレイルチェック」を実施します。	フレイルチェック測定会 5回実施 参加者数(延)102人	H30年度実績 年2回参加者数(延) 41人から開催回数、参加延べ数ともに大幅に拡大した。また測定会会場を市役所等に加え公民館でも実施した。	事業拡大	次年度は地域に出向く「巡回型フレイルチェック測定会」と市役所等で実施する「拠点型フレイルチェック測定会」を合わせて年10回程度実施予定。
28	地域介護予防活動支援事業	地域包括ケア推進課	通いの場サロンの支援	地域で住民主体に運動等の介護予防活動を開催する高齢者の通いの場(サロン)や新規に開催を希望する通いの場(サロン)への支援を行います。	実施団体数 106団体 開催回数 延べ14,640回 参加人数 延べ177,127人	前年度よりも実施団体数が増加したため、開催回数、参加人数ともに増加しており、地域で気軽に通える場となっている。	継続	次年度も新規に通いの場を希望する団体には、通いの場の事業の趣旨説明を行う説明会を実施します。引き続き、通いの場の活動の支援を行います。
29	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがいの高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	1,000名	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。	継続	スポーツをするきっかけづくりのため、競技種目を検討し継続する。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
30	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通し友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	203名	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。	継続	高齢者の健康保持に加え、湘南ブロック老連ニュースポーツ交流のつどいグラウンドゴルフ大会の予選会を兼ねているため、継続する。
31	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がい者スポーツ大会への参加を支援します。	アーチェリー 1名 ボウリング 4名 フライングディスク 29名 陸上競技(身体) 21名 陸上競技(知的) 15名 水泳 4名 卓球・STT 26名	参加者の健康維持の他、スポーツを通じて障がい者同士や健常者相互の交流を広げ、深めることに寄与した。	継続	スポーツを通じた、障がい者の余暇活動の充実を図ることで、より多くの社会参加の機会提供が進み、本人の生活力向上や健康維持に繋がるため継続して行う。
32	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組みきっかけづくりとするために開催する。	第2回ひらつかパラスポーツフェスタ開催。約800人参加。	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験し、パラスポーツに対する理解を深め、障がいの有無にかかわらず、気軽にスポーツに取り組める機会を提供できた。	継続	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組みきっかけづくりするために有効な事業のため、引き続き継続していく。
33-1 33-2	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会 スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	地区体育振興会において103事業(参加者8,575名)を実施しました。	各地区において様々なスポーツ事業を実施し、地域住民のスポーツ活動の促進に寄与した。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るために、当団体へ委託し、事業を継続していく。
34	スポーツ普及員の認定	スポーツ課	スポーツ普及員の認定について	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	現在の地域におけるスポーツ普及振興の状況を踏まえ、スポーツ普及員の役割及び認定制度について検討した。	本市では地域におけるスポーツ普及員としての役割を体振やスポーツ推進委員が担っている状況がある。本市の特性を生かしたスポーツの普及振興を進める制度として普及員制度のあり方を見直す必要がある。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るために、当団体へ委託し、事業を継続していく。
35	市民活動団体などの協働	スポーツ課	市民活動団体などの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 1市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 2小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業 今年度は、パラスポーツフェスタと連動して、大会開催前に、ポッチャの利用促進を実施した。	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	①市民団体(藤沢シニアネット)、平塚市まちづくり財団と協働して運用事業を継続して実施していく ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業については、大学交流事業として、小学校1校で月2回継続して実施していく。
36-1 36-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	年4回実施(参加者数 延べ259名) ポッチャ研修 1回 トリムバレーボール研修 2回 ふらばーるバレーボール、囲碁ボール研修 1回	年4回の研修会を実施し、スポーツ推進委員の知識と技能の向上を図ることができた。また、研修会の内容も充実し、各委員の意識の向上が見られた。この研修会で培った経験を各地区の事業や市内でのイベント等で発揮し、普及・発展に寄与した。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
37-1 37-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	全国・関東・県・西湘ブロック等の研修会に延71名が参加	各研修会や研究会に委員が参加し、実技指導等を受けたことにより、委員の技能や知識の向上を図ることができた。 また、その成果を本市のスポーツ推進委員や各地区の住民に広めていった。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
38	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内創設済みクラブは3団体。令和元年度中に総合型地域スポーツクラブの申請を準備している団体から問い合わせがあった。	活動実績等の把握調査や実態調査について県担当者と同行し、クラブの現状確認・相談に応じた。	継続	県の所管課や各種関係団体のパイプ役として、身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。
39-1 39-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	スポーツ教室として「平塚市中学校陸上競技教室」「平塚市中学生バスケットボール教室」を開催。延べ457名が参加。	例年、多くの参加者があり対象者の生涯スポーツの普及に寄与している。また、大学・トップスポーツ・行政の連携、地域貢献にも寄与した。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
40-1 40-2 40-3	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学 神奈川大学 スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	スポーツ教室として「平塚市中学校陸上競技教室」「平塚市中学生バスケットボール教室」を開催。延べ457名が参加。	例年、多くの参加者があり対象者の生涯スポーツの普及に寄与している。また、大学・トップスポーツ・行政の連携、地域貢献にも寄与した。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
41-1 41-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	東海大学 スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。また、バラスポーツ体験を定期的に行い、ポッチャ大会を開催した。 みずほ小学校 年16回	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
42-1 42-2	競技力強化事業	平塚市体育協会 スポーツ課	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市体育協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市体育協会に競技力強化事業として委託します。	平塚市体育協会所属の加盟団体が、選手強化に繋がる指導者講習会、大会、教室事業等を開催し、国体選手養成や体育協会関係選手の強化育成を実施している。国体出場選手18名(冬4名、夏14名)	平塚市体育協会加盟の選手が全国規模の大会で活躍するなど、トップアスリートを輩出する環境づくりに寄与した。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。 ※参考 平塚市体育協会全国大会支援金件数 5競技 7件 30名
43-1 43-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市体育協会 スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や、競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	12名の選手を派遣し、成績は全体で8位	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村間の交流や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることができた。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村間の交流や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることができるため、継続して実施する。
44-1 44-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 ※平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	令和元年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 26名 団体 3団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ優秀選手として推薦のあった個人、団体については、推薦内容等をよく精査し、決定することとする。継続事業とする。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
44-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰します。	平成31年度平塚市スポーツ優秀選手(財団)個人 34人 団体 1団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
45	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	令和元年度神奈川県及び平塚市体育功労者 神奈川県体育功労者 1名 平塚市体育功労者 7名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、また、関係者の競技力の向上やきっかけづくりとなるため、今後も継続する。
46-1 46-2	支援金の交付	平塚市まちづくり財団 平塚市体育協会	スポーツ団体等に対する支援事業	市民が生涯にわたってスポーツ活動を持続できるようにするため、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付します。又全国大会出場者に記念品を贈呈します。(小・中・高生対象)	関東1件(個人1件)、全国43件(個人41件、団体2件)、国際19件(個人12件、団体2件)計 63件 全国大会出場記念品 個人 18件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を持続することに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
47	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	市民が生涯にわたってスポーツ活動を持続できるようにするため、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助します。	会場使用料援助7件	スポーツ団体がスポーツ大会を継続して開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
48-1 48-2	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	これまでの団体との調整内容を踏まえ、現在の運営体制や近隣の法人化の状況などの調査を行い、法人化の可能性について検討を行った。	市が当該団体の事務局を担っており、団体が独立して運営するのは現状の体制では難しいと考える。	継続	近隣の法人化した団体の状況などを参考にするなど、今後も引き続き法人化の方策について検討する。
49-1 49-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレ スポーツ課	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えるとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	小学校7校 計480名 幼稚園・保育園8園 計179名 ※小学校については、10校教室を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で小学校が休校になってしまい予定していた3校で教室を実施することができなかった。	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心を持ち、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
50-1 50-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレ スポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	中学生 19名 延べ38名 小学生 88名 延べ1,496名 ※平成30年度に実施していた「小学生女子」については、ベルマーレの都合により実施されなかった。 ※平成30年度と比較すると小学生・中学生の延べ人数が減っている点については、ベルマーレの都合により派遣回数が増えたことによる。	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
51-1 51-2	サッカースクール	湘南ベルマーレスポーツ課	①未就園児親子運動教室 ②親子サッカー教室 ③レディースサッカー教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことの楽しさ、大切さを実感する。また、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	1前期と後期(水曜日) 計16回実施 延べ265組参加 2前期と後期(水・金曜日) 計32回実施 延べ627組参加 3前期と後期(金曜日) 計16回実施 延べ292人実施	多くの参加者がありサッカーを通じてスポーツの振興が図れた。	継続	湘南ベルマーレのノウハウを活用することで魅力的な事業を展開できることから今後も継続する。
52-1 52-2	小学生無料招待事業(ドリームパスポート)	湘南ベルマーレ総合公園課	ドリームパスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しめるまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に、市内在住小学生を無料招待します。	パスポート利用者数 延べ2,894人	ドリームパスポートを通じてスポーツへの興味や関心を高めるとともに、スポーツを楽しめるまちの推進に寄与した。	継続	小学生が無料でプロの試合を観戦できるこの取り組みは、平塚市独自のものであり、スポーツを楽しめるまちとして、小学生のスポーツへの興味・関心をさらに高めるために今後も継続する。
53	サイクルイベントの実施	事業課	こども自転車フェスティバル	地域住民の健康づくりを「自転車」をキーワードに様々な視点から提案する。主な内容として、キッズチャリレース、ステージイベント、人力発電競輪ゲーム、競輪選手によるデモレース等を実施。	コロナウイルス感染症対策のため、イベント開催中止となった。	イベントが中止となったため、評価できず。	継続	令和元年度は、前年度までの事業内容を見直しこども向けの自転車イベントとして開催予定であった。今後の社会情勢に注視しつつ、イベント開催によって、自転車の普及および競輪事業の理解促進に向けた取り組みを検討し、実施していく。
54	平塚市スポーツ指導者制度の運営	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運用事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	令和元年度において新規のスポーツ指導者の登録はなし。	指導者登録制度の活用が進んでいない状況であり、制度のあり方を見直す必要がある。	継続	現在4名の登録者がいるが活用できていないことから、現行制度を活用するための方策を制度そのもののあり方も含めて検討する。
55-1 55-2 55-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市スポーツクラブ連合 スポーツ課	平成31年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	「安心安全なスポーツ環境づくりとケガ予防のためのコンディショニング」令和2年2月開催、127名参加。	専門知識を学ぶ良い機会となり、ケガの予防に対する意識を高めることができた。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながら継続する。
56	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市体育協会	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	令和元年度実績 第1回「スポーツ指導者に必要な医学的知識について」参加者44名 第2回「オリンピックとスポーツ振興」参加者29名	平塚市体育協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
57-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を誘致します。	ビーチラグビー大会、ビーチバレージャパンツアー、全日本スキムボード選手権大会が開催されました。	全国規模の大会が実施され、多くの観戦者があり、スポーツの興味関心を高めました。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後とも質の高いレベルのビーチスポーツに接する機会の提供に努めていきます。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
57-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむ街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	皇后杯全日本総合バスケットボール選手権、富士通レッドウェーブ(Wリーグ)、全日本学生陸上個人選手権、オールスターナイト陸上等	Wリーグ開催と共にバスケットボール全日本選手権が開催され、平塚でのバスケットボール振興が定着している。陸上競技では毎年全日本クラスの選手で話題が多くあり、大会が定着して行われる地として競技団体から評価をうけている。	継続	スポーツを楽しむまちを推進するため、今後も大会の招致や開催を行う。
58	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	総合公園課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	計2団体をの支援を実施 公益財団法人日本学生陸上競技連合・実業団・学生対抗陸上競技大会	本市において、トップレベルの大会が開催されたことにより、それを観戦した人のスポーツへの興味・関心や育成年代への喚起にも寄与した。	継続	市民へのスポーツを観る機会の創出のため、今後も継続して支援していく。また、大会の規模や市民からのニーズにより、支援団体の精査や見直しを併せて実施する。 なお、補助金額については財政状況に応じる。
59-1 59-2 59-3 59-4 59-5 59-6 59-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第7回ひらつか市民スポーツフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。	不特定多数の人が集まるイベントだったため、新型コロナウイルス感染症を防止しながら実施するのは困難のため、中止となりました。	継続	第6回目まで開催しており、イベントとして定着しているため、市民の認知度も上がってきている。市民のニーズを把握して、各種事業を改善しながら、継続事業とする。
60-1 60-2 60-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ 横浜ビー・コルセアーズ 総合公園課	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	学校訪問 延べ22校、参加児童延べ2,060人	児童がプロスポーツで活躍する選手と触れ合い、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを観る・することの楽しさを知ってもらう機会を提供できた。	継続	プロスポーツ選手と直接触れ合う機会の提供は、児童にとって大変貴重な経験となり、スポーツ振興に大きく寄与するため今後も継続する。
61-1	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	リトアニア共和国オリンピック委員会ナショナルチームテストキャンプ	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、平塚市での事前キャンプ実施が決定しているリトアニア共和国オリンピック委員会ナショナルチームがテストキャンプを行った。スポーツへの興味・関心を高めるため、市民がトップアスリートと直に触れ合えるイベントを開催した。	・令和元年8月15日(木) 真土地区住民及び真土小学校5学年児童との交流(参加者数:24名) 日本文化体験(参加者数:10名) ・令和元年8月16日(金) 伊勢山地区納涼盆踊り訪問(来場者数:160名) ・令和元年8月17日(土) 湘南ベルマーレホームゲーム訪問(来場者数:13,702名) ・令和元年8月18日(日) 自転車教室の開催(参加者数:20名)市民平和のタペ訪問(来場者数:900名)	市内で開催された各種イベントへの訪問や小学生とのふれあい、自転車教室等の開催等を通じて、多くの平塚市民との交流を深めることができた。	継続	今後も、交流を深めるとともにホストタウンをPRしていくため、引き続き事業を継続していく。
61-2	トップアスリートを活用した事業の開催	オリパラ推進課	リトアニア共和国パラリンピック委員会ナショナルチームテストキャンプ	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、平塚市での事前キャンプ実施が決定しているリトアニア共和国パラリンピック委員会ナショナルチームがテストキャンプを行った。スポーツへの興味・関心を高めるため、市民がトップアスリートと直に触れ合えるイベントを開催した。	・令和元年5月22日(水) 春日野中学校訪問(一学年生徒数:115名) 日本文化体験(なでしこ公民館)(参加者数:12名) 湘南ベルマーレホームゲーム訪問(来場者数:7,366名) ・令和元年5月23日(木) 平塚市社会福祉協議会福祉施設部会訪問(出席者数:74名)	市内小中学校や湘南ベルマーレのホームゲームを訪問する等、多くの平塚市民との交流を深めることができた。	継続	今後も、交流を深めるとともにホストタウンをPRしていくため、引き続き事業を継続していく。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
62	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の管理・運営	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	体育施設利用状況 計 245,305人 (桃浜町・軟式庭球場、王御住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場、土沢野球場、パークゴルフ場)	スポーツ課管理の体育施設の維持、管理、運営を行い、市民にスポーツする場を提供し、市民のスポーツをする機会に貢献した。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、スポーツ施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
63-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。 ※利用形態:2時間1単位【市内】900円、【市外】1,800円	屋外専用フットサル場として、市で行っている唯一の施設で安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができました。 特に土日祝の利用率が高く、毎週利用者がいます。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続していきます。
63-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	利用者数延べ1,179,746人 (有料公園施設。馬入ふれあい公園含む)	スポーツを「する」「観る」場の提供ができた。	継続	利用者が安心して快適に利用できる場所として今後も管理・運営を行う。
64	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。また、バラスポーツ体験を定期的に行い、ポッチャ大会を開催した。 みずほ小学校 年16回	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
65-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを持つ指定管理者を導入します。	各種ビーチスポーツの大会誘致や体験教室を開催し、施設の活用と普及に努めています。	夏季を中心に施設の活用、ビーチスポーツの普及には資していますが、シーズンオフの運営については工夫が必要です。	継続	今後とも、指定管理者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めていきます。
65-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者が、施設の運営管理を行った。	管理運営上でのさまざまな事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
65-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	桃浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活かして効率的な管理運営に努めていく。
66	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館の附属体育館の管理・運営を行います。	合計 5,873回 延べ 108,512人 内訳 花水公民館 1,577回 延べ29,181人 神田公民館 1,123回 延べ17,918人 金目公民館 990回 延べ13,043人 金田公民館 1,022回 延べ25,975人 旭南公民館 1,161回 延べ22,395人	新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、附属体育館の利用を一時停止した。それ以外は前年度と同程度の規模で実施した。	継続	市民への周知方法を検討して継続する。

令和元年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性	※左記の判断理由
67	民間スポーツ施設等の情報・実績把握	スポーツ課	小松製作所のグラウンド・テニスコートを地域住民に開放する	小松製作所、平塚市との協定により、民間スポーツ施設の利活用を行い、地域住民へ運動の場を提供するもの。	令和元年度利用者数 グラウンド 205人 テニスコート 307人 合計 512人	1月、5月を除く各月の施設利用状況については、ほぼ埋まっており、利用者からも一定の評価を得ているものと考えられる。	継続	引き続き小松製作所との連携を密にして、より利用者に活用してもらえるよう周知していく。
68	スポーツ用具有効活用事業	スポーツ課	各種団体にスポーツ用具の貸出を行う。	ニュースポーツを中心としたスポーツ用具を市民に貸し出すことで、スポーツを気軽に楽しんでもらい、継続してスポーツに取り組んでもらうことができる。	328件の借用を実施した。	ポッチャ、バウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類の用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動の実施を側面から推進した。	継続	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市民のスポーツへの関心をさらに高めていく必要があるため。
69	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	ポータルサイトの総合設計・テスト 年間訪問者(109,899人)、年間ページビュー(331,296件) スポーツ団体ページの作成(総計152団体) オンラインアンケートの実施 Facebook連携し、スポーツ情報拡散の試行	多くのスポーツ団体や施設情報の掲載を行うのみならず、スポーツ団体がイベント等の記事投稿ができる機能を整備することにより、市民が関心あるスポーツ情報を「いつでも、どこでも、手軽に」得ることができる様にサイトの運用を行うことができた。	継続	昨年度からサイトをリニューアルを実施した。今後もさらなる利用促進に向けて、湘南ふじさわシニアネット(市民団体)、平塚市まちづくり財団と連携を強化する。
70	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供を図るため、「スポーツタウンひらつか」の発行・教室一覧チラシ・ホームページを開設し、スポーツ情報を提供します。	スポーツタウンひらつか年3回発行4,000部/回 ホームページによる教室案内等の情報発信 スポーツ教室一覧チラシ4,000枚作成して公共施設などに配布	スポーツへの興味関心を高めるとともに多くの方の教室参加に繋がり、健康の保持増進に寄与している。	継続	スポーツ情報の提供は重要なため、今後の継続する。
71	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	スポーツイベント等の記事掲載等がされた。 ※市民スポーツフェスティバルの関係記事を「(株)湘南ジャーナル社」「(株)タウンニュース社」に3回ずつ掲載していただいた。	スポーツへの興味、関心を高めることに寄与した。	継続	地元メディアと連絡調整を行い、効率的な情報発信が可能となるよう、検討する。